

経営比較分析表

神奈川県 南足柄市

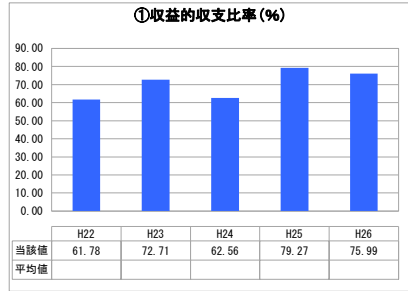
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	68.71	91.07	1,494

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,036	77.12	571.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,171	6.13	4,921.86

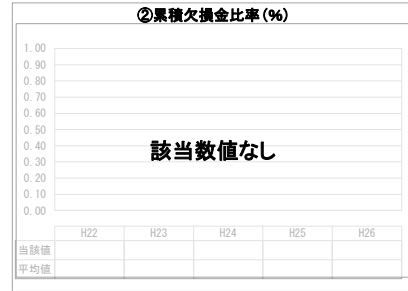
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

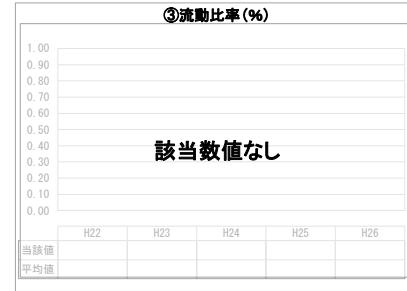
1. 経営の健全性・効率性



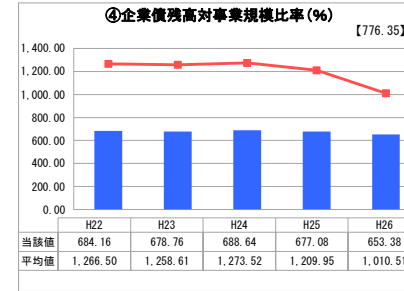
「単年度の収支」



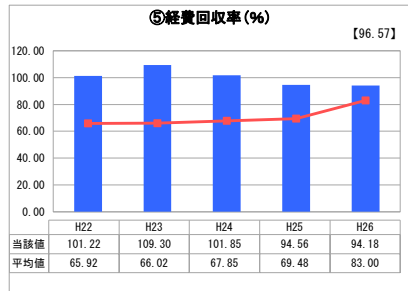
「累積欠損」



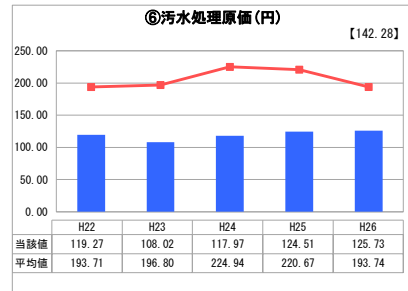
「支払能力」



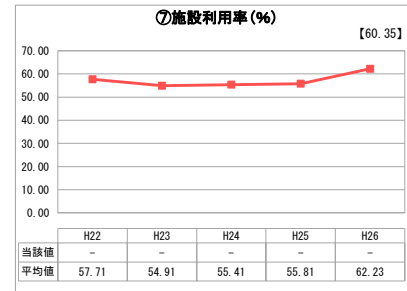
「債務残高」



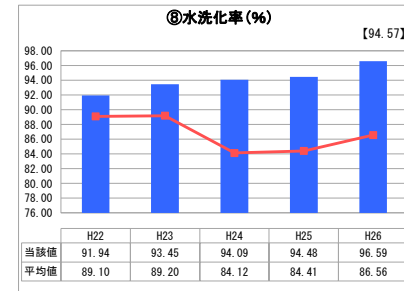
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

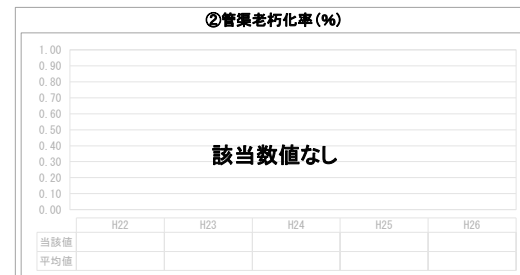


「使用料対象の捕捉」

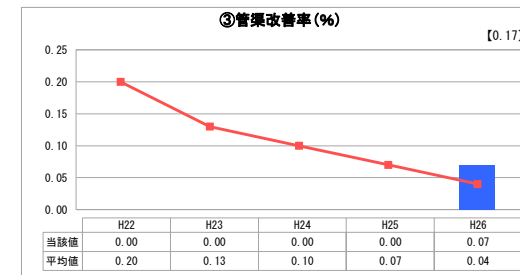
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%に到達しておらず、料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用や地方債償還金を賄っていないことが分かります。経費回収率が類似団体内で高い水準になっていますが、これは資本費平準化債等を充てているために高い数値となっているもので、こうした借入金に依存している状況にあります。

水洗化率は類似団体内で高い水準であることから、概ね適切に接続されていると分析されますが、節水志向の高まりなどから、有収水量は年々減少しており、長期的に安定した下水道経営を継続していくための対策が求められています。

2. 老朽化の状況について

老朽化に起因する施設の使用停止や道路陥没事故等は、市民の日常生活へ深刻な影響を与えます。そのため、影響度の高い管渠から重点的に機能の維持・向上を図り、下水道施設の長寿命化を図っています。

現時点では耐用年数を越える管渠はありませんが、今後は本格的な更新時期を迎え、改築・更新、維持管理に要する費用の増加が予測されます。

全体総括

経費削減のため、これまでも建設コストの削減や人件費の削減などを行ってきましたが、老朽化した管渠の増加等により、将来的には更に財源が不足すると予測されます。

そのため、今後の歳入見込みや経費等を試算し、他自治体の状況を考慮しながら適正な料金収入についての検討を進めた結果、平成28年度から料金改定を実施する予定となっています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。